

きれいに暮らす

奈良県スタイルジャーナル

VOL.

14

2021 FEBRUARY

きれいな大和川を
目指して

奈良県立

王寺工業高等学校

「清掃活動を楽しむこと」が伝統！
マナーが評価される「ものづくりの学校」

「日本一礼儀正しい工業高校」としてメディアに取り上げられたことがある奈良県立王寺工業高等学校。特別な指導はなくても、先輩から後輩へと自然に受け継がれる「生活態度」は、清掃活動のやりがいの継承にもつながっています。



王寺工業高等学校 生徒会会長

いのうえ けいた
井上 敬太さん



王寺工業高等学校 教諭

おかもと のぶお
岡本 伸王さん



3年生全員が参加し、100名以上で一斉清掃

「地域に貢献したい」
という気持ちで
活動スタートのきっかけ

県内唯一の工業専門高校で、機械工学科・電気工学科・情報電子工学科の3つの学科があり、次代を担う工業人の育成をめざす王寺工業高等学校。約30年前から取り組んでいるのが、地域の清掃活動。山の上に位置する学校であるため、地域との関わりが少なく、「少しでも地域に貢献したい」という学校全体の思いが活動開始のきっかけ。数年前に王寺町の事業として始まった「クリエイイト (create) クリーン (clean) サークル (circle) 活動」(通称：CCC活動)への参加を機に、さらに熱心に取り組むようになりました。毎年度4月の段階で、年に3回学年単位で行う「クリーン作戦」や、有志を募って集まるクラブ等の活動状況に

応じて、年間スケジュールを策定します。学校近くを流れる葛下川^{かつげがわ}の周辺と河川敷をはじめ、通学路、JR・近鉄王寺駅周辺、王寺霊園など、広い範囲で清掃活動を行っています。クリーン作戦では、一度に数十袋ものごみが集まることも。クラブの参加も積極的に、「登山スキー部」は明神山の清掃を行うなど、トレーニングを兼ねて取り組んでいます。

「コロナ禍の生徒にとっては
貴重な行事で楽しい思い出

生徒会会長の井上敬太さんは、学校ぐるみの清掃活動について、「入学してから知った活動ですが、地域の役に立つことなので抵抗もなく、自分もやってみたいなと思いました」と話します。実際に活動を始めて驚いたのは、国道沿いのごみの多さ。「ベッドボトルや空き缶、たばこの吸い殻などは予想以上に多くて、びっくりしました。その驚きと同時に、自分が清掃した後は、『捨てられているごみをゼロにしたい』という思いも芽生えてきました。地域の人々に声をかけられることもあったそう。『掃除してくれてるんや。ありがとう!』と言っていただいた時は、素直にうれしかったです」。

コロナ禍で学校行事のほとんどが中止になった昨年も、クリーン作戦は「3密」が避けられる活動であるため、



上 葛下川周辺で拾ったごみを学校内で分別
下 ごみの分別も丁寧に



先輩の姿を見習う伝統が
清掃活動を楽しむ風土の土台に！

テレビや雑誌などのメディアで「日本一礼儀正しい工業高校」、「就職内定率100%を20年近く続けている高校」として紹介されたことがある王寺工業高等学校。生徒の伝統として根



清掃活動中はみんないつも笑顔

決行。生徒会の担当教諭、岡本伸王さんは、その日を楽しみにしていたといいます。「今年度は生徒会の活躍の場がなく残念でしたが、その分、彼らを中心に学生みんなが張り切って清掃をしてくれました。やらなければいけないという義務感ではなく、やりがいを持って取り組んでいる姿を見て、ともうれしかったです」。みんなで協力しながら行う清掃活動は、先生、生徒ともに、楽しい思い出の一つとなっているようです。



井上さんに今後の目標について聞くと、「清掃活動を後輩たちにも楽しんでやってもらいたいというのが一番の願いです。地域の方に感謝してもらえ、この喜び、きれいな環境をつくれれば、自分たちが生活するうえで気持ちがいいということをしつかりと伝えたいです」と明快な回答。「ものづくりの学校」が掲げる「生徒の地域貢献」が、モデルケースの一つとして認知されれば、きれいなまちづくりが自然と広がっていくはず。

付いているのが、立ち止まってお辞儀をして大きな声で行う挨拶。しっかりとした生活態度は、地域の方々から高く評価されています。「教員が挨拶やマナーについて『こうしなさい』と指導することはありません。先輩の姿を後輩が見習って行動する。やらされるのではなく、自ら考えて行動する伝統が自然と受け継がれていると思います」と岡本さん。この風土は、長年続く清掃活動への積極的な取り組みにもつながっています。



佐保川ガーディアンズ

気の合った仲間と楽しみながら、
地域の美化と絆づくりを

毎月第一日曜の朝9時過ぎ、なごやかに談笑しながら
佐保川のほとりを掃除して歩く青いユニフォームのグループがあります。
佐保川ガーディアンズは、発足から30年以上、
自称 勝手気ままな自然体ボランティアで佐保川の美化活動を行っています。



佐保川ガーディアンズ 代表

まつおか あきお
松岡 明夫さん

「きれいにしたい！」と
たった一人でのスタート

万葉集にも詠まれる佐保川は、大和川の支流の一つ。川沿い約5kmに渡る桜並木は、県内有数の桜の名所です。この桜並木の北端近くにある「大佛鐵道記念公園」にもまた見事な枝垂桜が。多くの人が桜の撮影に訪れるというこの公園から、佐保川ガーディアンズはスタートしました。

ガーディアンズ創設メンバーで、代表を務める松岡明夫さんの住まいは公園のすぐ近く、「ここをきれいにしてみんなが憩えるようにしたいと、一人で掃除を始めたのが30年以上前です。そのうち佐保川のごみが気になって、知り合いに声をかけました。せっかく立派な桜があるのに、川が汚いのもったいない、佐保川を掃除しよう」と2人で始めたわけです。それから、知り合いや近所を誘って、あっという間に人数が増えました」。現在の登録メンバーは15



長靴を履いて川に入ることも

名、みんな10年以上のキャリアだそうです。

社会貢献活動のきっかけ、
地域での絆づくりも

松岡さんがあちこち声をかける中で強く感じたのは、「みんな、社会のためとか人のために何かしたいんですよ。ただそのきっかけがない」。だからこそ、誘うと「ああいいよ」と賛同してくれました。ガーディアンズが社会貢献活動の良いきっかけとなったようです。

活動を始めてしばらく後に襲った阪神淡路大震災も、松岡さんたちにある思いを抱かせます。「あの震災で、絆というものを意識しましたね。特に男性は、会社や仕事の関係だったらわかるけど、いざ仕事を離れたら近所の人のこと何にも知らないでしょう。だったら何かを通じて絆をつくっていったらいいんじゃないかって。そこでこれからも公園や佐保川の清掃を続けていこうと」。地域での絆を大事にしたいと願いつつ、活動が続いています。

シンプルな活動ルールで継続し
地域で認められる存在に

活動の甲斐あって、桜並木の北端から約1kmの佐保川は、随分きれいになりました。「始めたころは、粗大ごみも多くてすごかったですよ。近ごろはほと



上 親子そろって佐保川をきれいに
下 大佛鐵道記念公園に集合



んどなくなりましたね。やっぱりきれいにしていると捨てることに抵抗を感じるんじゃないかな。近所の人がメンバーを見かけて「お掃除おつかれさま」と声をかけたり、共感した人たちが自ら掃除したりと、嬉しい波及効果も。

このように認知されるまで長続きしている秘訣は、その活動の姿勢にあります。「家と仕事を優先してください、と言ってます。各人が仕事してるんだし、家の用事もあるしね。決まってるのは、第一日曜の9時から。もし9時に来れなくても、『何時でもかまへんから来てやあ』って。ただし、雨天決行の原則は貫かれています。『各人に判断を任せると、『降ったからやめよう』『これぐらいの雨なら行こう』って、基準がバラバラになってしまつから。よほどの大雨でない限りやります。雪が降った時もあるけど、みんな来てくれましたね。」

自然体の持続可能な活動として 将来の世代につなきたい

「仲間とワイワイ言いながら、結構楽しんでやっています」と口を揃えるガーディアンズのメンバー。子ども連れで参加するメンバーも5組ほどあるそうです。「これまでも子連れの参加者はたくさんいます。けど小学生までかな」と松岡さん。「それでも小さいころに来てれば、『ごみを捨てるのは良くないな』『自分

たちで町を掃除してきれいにするもんだ』って、分かってくれるんじゃないかな。」

今後の抱負をうかがうと、「みんなで勝手気ままにやってる感じで、掃除して少しでもきれいにしよう、できる範囲でわずかも社会に貢献しよう、それだけで、そんな深いもんじゃないから」と。

「このメンバーで可能な限りは続けて、その姿を見た誰かが引き継いでくれるでしょう。子どもたちが大きくなつた時に、『こんな人たちが居たなあ、自分もやるつ』ってなればいちばん嬉しいですね。」



拾ったごみは丁寧に分別



生駒市・平群町・斑鳩町 竜田川流域 生活排水対策推進会議



上 回収された使用済み食用油
中 廃食用油から作られたせっけんとノベルティ
下 小学校の自然観察講座を支援(平群町)

廃食用油のリサイクルなど、 流域3市町の取組みで水質を改善

「ちはやふる～」の和歌で有名な紅葉の名所 竜田川。
平成初期、BOD※の数値が20に迫るほど水質が悪化していました。
流域の生駒市・平群町・斑鳩町では、廃食用油のリサイクルを始め
さまざまな生活排水対策や啓発を展開、着実に水質を改善してきました。
※BOD：生物化学的酸素要求量。この値が大きいほど、水質が悪いことを意味します。



生駒市環境保全課 課長補佐
きど たけし
木戸 勇さん



生駒市環境保全課 保全係長
きたざと なおゆき
北里 直之さん



生駒市環境保全課 係員
たにくち まさき
谷口 雅貴さん

水遊びができる水質を目標に
活動が始まって四半世紀

大和川の水質が全国ワーストと
ニュースをにぎわせるなか、支流の竜
田川が流れる3市町で竜田川流域生
活排水対策推進会議を立ち上げたの
が、平成6年のこと。「水遊びのでき
る川づくり」を目指してのスタートで
したが、この年、生駒市内の竜田川
4カ所で測定したBODのうち、最
悪の数値は16・6！10以上になると
悪臭がするといわれる値を超えていま
した。「設立時のBOD目標値は、環
境基準の『5以下』です。この基準を
満たしていれば水遊びもできるだろ
うと、当時は目標に定めたんだと思いま
す」と、生駒市環境保全課の木戸勇
さん。

推進会議では設立以来、河川のパ
トロールで不法投棄などを監視する
ほか、水質改善対策として廃食用
油を回収して石けんをつくるリサイク
ル事業を実施。また街頭での啓発活動
やパンフレット配布を通じて、川を
きれいにする取り組みを紹介し、協
力を呼びかけてきました。

その結果、生活排水への配慮が浸
透し、浄化槽の設置や下水道の普及
が進んだこともあり、平成30年度
のBODは4カ所中3カ所で目標をク
リアし、残りの1カ所も6.1まで改善さ
れています。

一定の成果を上げた今
推進会議の目指すものは…



さらなる水質改善を目指し継続して
いる啓発事業の一つが、小中学校での出
前講座。「竜田川流域で自然観察などの
活動をする団体と協定を結び、野外授
業などの活動を、物品や費用の補助な
どで支援しています」と北里直之さん。

また、年々充実してきているのは、
廃食用油の回収・リサイクル事業です。
回収量は当初の約5倍になり、推進会
議を象徴する活動といえそうです。「油
を固めてごみに出すと、燃やして終わ
ります。石けんとしてリサイクルすれば
循環するわけですから、こちらが好ま
しいでしょう。SDGsに向けて、よりよ
い未来と地球を後世の人たちに残して
いくことが求められている今、資源を無
駄にせず大切に使うという側面も大事。
川をきれいにする活動が、リサイクルな
ど環境への意識を高めることにつな
がれたいと思います」と木戸さん。

これからも廃食用油のリサイクル等、
推進会議の取り組みは継続されていき
ます。

一人ひとりの工夫で川の水をきれいにしましょう！

～2月は大和川水質改善強化月間です～

- 大和川の水質は流域全体の取り組みによって年々改善されてきていますが、まだまだ改善の余地が残されています。
- 水が汚れる原因の約7割は生活排水です。川をきれいにするためには、私たちの取り組みが大切です。

残さない

食事は食べる分量だけ作り、残らないようにしましょう！

～ワンポイント～

残ったら次の日に活用できるように冷蔵庫で保存しましょう！



ふき取る

食器やフライパンなどの汚れは拭き取ってから洗いましょう！

～ワンポイント～

古着などをカットして使えばムダなごみもありません！



流さない

食べ残しや残りクズを、直接流さないようにしましょう！

～ワンポイント～

三角コーナーや水切りネットを上手く活用しましょう！



ごみを減らす

ごみになるものを買わない・もらわないようにしましょう！

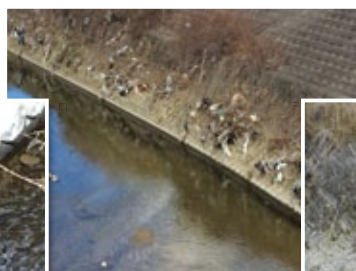
マイバッグ・マイボトルを持参しましょう！



エコで川にも家計にもやさしい！

県内の河川から海にごみを流さない (海洋プラスチックごみ対策)

- 海洋プラスチックごみの約8割が陸域からの流入で、発生源の対策が必要です。
- 河川に不法投棄され海洋に流出した海洋プラスチックごみは、生態系を含めた海洋環境の悪化など、様々な問題を引き起こします。
- マイバッグの持参や容器等のリユースなどのプラスチックごみの減量化、不法投棄の根絶など、私たち一人ひとりの、県内の河川から海に流出するごみを無くす取り組みが重要です。



奈良県 水資源政策課、環境政策課、廃棄物対策課

「地域の河川サポート事業」参加団体募集!

～河川美化活動を支援します～

地域による河川美化活動を育成し、憩いと潤いのある河川空間を創出するため、地域住民の皆様が主体的に実施される河川美化活動(河川の清掃・草刈り・花の植栽等)を支援します。

3つのプログラムがあります。活動内容にあったプログラムでご参加ください!

憩いの川づくりプログラム



内 容 草刈り
要 件 1回の参加人数10人以上
年間1回以上、延長100m以上
刈り取り高10cm以下
支援内容 面積に応じた報償金の支給
(㎡×9円)
傷害・賠償責任保険の加入
看板の設置

彩り花づつみプログラム



内 容 花の植栽・維持管理
要 件 1回の参加人数3人以上
支援内容 面積に応じた報償金の支給
(㎡×320円)
※花苗の植えつけ及び
維持管理の場合
傷害・賠償責任保険の加入
看板の設置
花苗等の物品の支給

ボランティア支援プログラム



内 容 清掃
(軽微な草刈りを含む)
要 件 1回の参加人数5人以上
年間1回以上、延長50m以上
支援内容 報償金の支給または、
傷害・賠償責任保険の加入

詳しくは県水資源政策課水循環政策係までお問い合わせください。

お問い合わせ先 奈良県水資源政策課 TEL.0742-27-8489 URL. <http://www.pref.nara.jp/17237.htm>

浄化槽をきれいに保ちましょう!!

～あなたのおうちが浄化槽の場合～

浄化槽を設置している住宅については、浄化槽法で定期的な「法定検査」「保守点検」「清掃」が義務付けられています。

▶ 法定検査(年1回)

水質・稼働状況等の検査を実施し、浄化槽本来の機能が十分に発揮されているかを総合的に検査します。(一社)奈良県環境保全協会にお問い合わせください。
(tel:0745-22-5161)



▶ 保守点検(年3回以上)

機器などの不具合等を点検します。保守点検業者にお問い合わせください。業者名簿はエコならHP内に掲載しています。



業者名簿HP



▶ 清掃(年1回以上)

浄化槽にたまったどろ状のかたまりを引き抜きます。お住まいの市町村にお問い合わせください。
※回数は一般的な家庭用の小型合併浄化槽での回数です。処理方式や処理対象人員によって回数は異なります。



合併処理浄化槽への転換をお願いします

ご家庭の浄化槽が「合併処理浄化槽」か「単独処理浄化槽」か「くみとり槽」かご存知ですか?

単独浄化槽やくみ取り槽のご家庭では、台所や風呂場等の生活雑排水を浄化せずにそのまま河川に流してしまいます。一方、合併処理浄化槽は、家庭から出るすべての生活排水を処理するため、単独浄化槽やくみ取り槽に比べ河川への負荷が約1/7～1/8になります。

川をきれいにするために、単独浄化槽やくみ取り槽を使用している方は、合併浄化槽への転換をお願いします。